荒木幼稚園　園長だより

えがお　きらきら　あらきっこ



令和８年１１月２０日
出雲市立荒木幼稚園
園　　長　　大田友紀子

６日（金）は、保育公開･保護者研修会･給食試食会を行いました。

保育公開では、各学級で展開されている遊びを保護者の皆さんにも楽しんでいただきました。「１学期よりも友達と一緒に楽しむ姿が見られて成長を感じました（年少組）」「色々な工夫やアイデアがつまった遊びの場で、子どもの発想って自由でおもしろく、たくさんの工夫を発見できました（年中組）」「みんなが意見を出してそれを聞き、次に生かしていく姿を見ることができて感動しました（年長組）」等々、保護者の皆様からたくさんの感想をお寄せいただきました。子どもたちの感じている遊びの面白さを保護者の皆様にも共有していただけたこと、そしてその中で成長を感じ取っていただけたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。

保護者研修会では、「子育てで大切にしていること」についてのカードワークを行いました。活発な話し合いの様子を見て、皆さんが日頃から子育てに真摯に向き合っておられることを改めて感じました。また森山指導員様の講話では、こどもの人権について考える機会となり、私自身も保育者としてまた親として子どもの思いを尊重し自尊感情を育むかかわりをしていきたいと改めて思いました。皆さんの子育てへの思い、また研修の感想は、みんなで共有したいと感じるものばかりでしたので、カードワークについては玄関に掲示させていただき、感想については裏面に載せさせていただきました。ぜひご覧になってください。ご参加いただきありがとうございました。

給食公開では、お家の方と一緒に食べる子どもたちがとても嬉しそうで、どのクラスもあったかい和やかな雰囲気に包まれていました。給食では、食べることの喜びを感じながら、みんなで一緒に同じものを食べることを通してマナーを身につけたり、好きな物だけでなくいろいろな食材を味わえるようにしたりしています。普段通りの様子ではないお子さんもおられたかもしれませんが、園での一端を見ていただくことができ、良かったです。給食の味付けや量など、ご家庭での食事の参考にしてみてくださいね。







高齢者クラブさんとの交流会を行いました。

19日（木）は、高齢者クラブさんとの交流会を行いました。園庭での焼き芋作り、会食を予定しておりましたが、あいにくの天気で実施できず、遊戯室での交流会とふかし芋会食を楽しみました。荒木地区の６名の高齢者クラブの皆さんが来てくださり、子どもたちの歌をにこにこしながら聞いてくださったり、玉入れ競争をしたり、コマや竹とんぼで一緒に遊んだりしました。（竹とんぼは飯島会長さんが園児に一人一本作ってくださいました。後日ご家庭に持ち帰ります）コマや竹とんぼはコツがいりますが、おじいさんおばあさんが手を取って根気よく丁寧に教えてくださいました。「その調子だよ」「上手だね」と励ましの声をかけてくださり、子どもたちもとても嬉しそうでした。最後はみんなで丸くなってふかし芋をいただきました。さつま芋は高齢者クラブさんからのプレゼントです。ホクホクの甘いお芋に「おいしい！」「おかわり！」の賑やかな声が飛び交っていましたよ。







子どもたちの話一つ一つ「そうかね、そうかね」と頷きながら聞いてくださいました。
優しく温かく、安心するひとときとなりました。



保護者研修会について保護者の皆さんからお寄せいただいた感想を紹介します。

普段の子どもへの接し方を見直す良い機会となりました。子どもの気持ちや意見にもっと耳を傾けて、いつでも子どもの一番の味方でありたいと改めて思いました。

普段話す機会がない保護者さんと話せたことが良かったです。毎日のギューは親も幸せな気持ちになります。とてもいい機会でした。

グループ分けのゲームがすごく楽しかったです。話し合いも楽しい気持ちのままたくさん話すことができました。他の保護者の方の子育てで大切にしていることを知ることができ、みんな同じように毎日を頑張っていると分かり、心強く思いました。

他の保護者の方の意見を聞く中で気付かされること、改めて考えさせられることがあり、たくさんの学びのある研修になりました。子どもの人権について、ふと立ち止まって今日の言葉を思い出そうと思いました。

つい言ってしまう言葉に反省しながらも感情が先に立って言ってしまう・・だけどその分「ハグ」や「気持ち」は伝えるようにしています。ランドセルの動画は、「ちゃんと選ばせてあげないと、だな」と思いました。

色々な保護者の方と喋れて良かったです。

日々の子育てについて改めて考える良い機会となり、有意義な時間でした。貴重なお話を聴く機会も設けていただき、ありがとうございました。

普段、お題を決めてお話しすることがあまりないので、たくさんの色々な意見が聞けて良い機会でした。改めて、子どもの意思を一人の人間として尊重してあげることの大切さを再度確認させていただきました。

他の保護者さんも同じことを考え悩んでおられるのが分かって、少し安心しました。1日1回ハグをする・・意識してやっていこうと思いました。

育て方について様々な意見があり、新しい見方につながりました。どう育てるか、何を大事にするのかを改めて考えさせられました。有意義な時間でした。

いつも何気なく言ってしまう言葉でも、子どもはまっすぐ受け止めるので、気を付けないと、と気付きになりました。子どもにとっての一番の味方でありたいと思いました。

親の心、子の心、それぞれに一生懸命でも、なかなかうまく伝えるのは難しいと改めて思いました。

大切なことだけどちゃんと考えたことがなかったので、良い時間だったと思います。フルーツバスケットも、他の保護者と育児信念みたいな話をする機会もあまりないので、良い経験でした。

改めて子どもに対しての向き合い方について考えることができて良かったです。最後に見たセイバンの動画は、子どもが親のことをいろいろ見てくれているんだなと気付かされ、思わず涙が出てしまいました。

自分の子どもたちへの関わり方を振り返る良い機会になりました。親の都合や感情をぶつけていないか、本当の意味でこどもまんなか社会になっているか考えることができました。他の親さんの子育てで大切にしたいことを見れたこともとてもプラスになりました。

改めて子育てについて考える振り返る機会となりました。皆さんが子育てで大切にしていることを聞け、同じだなという思いを共感でき良かったです。

ランドセルの話がすごく心に刺さりました。今から選ぶので、子どもの意見を尊重したいと思います。

自分では伝えているつもりでも、我が子にそれが伝わっているのか不安になりました。もう一度関わり方、伝え方を見直そうと思いました。

「こども基本法」初めて知りました。「意見を表明できること」絶対忘れないようにします。つい親の望むように意見をしたり、誘導しようとしてしまうことがあるので、ランドセルの動画は考えさせられました。自尊感情を育む関わりができるように意識して子どもと接していきたいです。

改めて子どもの人権について考えさせられました。VTRのランドセルを選ぶ時の子どもの気持ちを知って、我が家はもうランドセルを買ったので、もう一度選ばせてみたいと思いました。森山先生の話もとても分かりやすくて良かったです。

「共感すること、してもらえること」は安心感につながります。「新たな気付きを得ること」は次へのパワーとなります。たくさんの感想ありがとうございました